

2021 年度 CATV 技術者資格(CATV 総合監理技術者、第 1 級 CATV 技術者)受講受験お申し込み案内(募集要綱) (旧資格制度での科目合格をされている方)

受験のお申し込みは、以下の募集要綱をご確認いただき、ご同意の上お申し込み下さい。
お申し込みをいただいた場合、ご同意いただいたものとさせていただきます。

■ 対象者

旧制度の法規科目に合格している方で、有効期限が 2022 年・2023 年 3 月、2022 年・2023 年 9 月の方が対象です。

■ 申込受付期間

2021 年 11 月 1 日(月) 9:30 ~ 11 月 15 日(月) 23:59 まで

※受付期間を過ぎた場合、お申し込み手続きはできません。必ず申込受付期間内にお申し込みください。

■ お申し込み方法

申込受付期間内に、インターネットから当協会のサイトにアクセスしお申し込みください。

※郵送でのお申し込みはできません。ホームページからの電子申請でのお申し込みのみとなります。

受験のお申し込みは [こちら](#) のバナーをクリックして下さい。



電子申請でのお支払い方法は、コンビニ払い、郵便払込、クレジットカード支払となります。お申し込み時にお支払いの選択ができます。なお誠に申し訳ございませんが、請求書の発行は承れませんのでご了承ください。

※CATV 技術者資格でお申込まいただいた個人情報は、CATV 技術者資格の事務処理に使用し、その他の目的のために使用することは有りません。

■ 受験対象資格

- ・CATV 総合監理技術者
- ・第 1 級 CATV 技術者

■ 講習・試験方法

講習、試験	
講習方法	e ラーニング講習
試験方法	CBT 試験

e ラーニング講習・・・パソコンやモバイル端末を使用し、自己学習をします。

CBT 試験・・・全国にあるテストセンターにてコンピューターで試験を行います。

> e ラーニングについての詳細は [こちら](#)

> CBT 試験についての詳細は [こちら](#)

■ 講習・試験実施期間

講習・試験の実施期間は下記の日程で行います。なお、eラーニング講習が期間内に修了しなかった場合、試験は受けられませんのでご注意ください。

講習・試験 実施期間	
eラーニング講習	2021年12月1日(水)～2022年2月15日(火)
CBT試験	2022年1月11日(火)～2022年2月21日(月)

■ 講習時間

eラーニングの講習時間につきましては、協会ホームページもしくはMyPageのお問い合わせフォームよりお問合せください。

> eラーニングについての詳細は [こちら](#)

■ 試験時間

各科目、試験時間が異なりますのでご注意ください。

科目	試験時間	テストセンター
(旧)受信調査	30分	受験科目が3科目又は4科目の方:160箇所 受験科目が1科目又は2科目の方:320箇所
(旧)施工	30分	
(旧)システム	60分	
(旧)ブロードバンド	60分	

※2021年11月1日よりCATV技術者資格制度変更に伴い受講・受験科目が変更になりますが、現在、CATVエキスパート資格を保有されている方は、旧制度の科目で受講・受験をしていただきますので科目名の前に(旧)と表記しております。

> CBT試験についての詳細は [こちら](#)

科目	試験時間
(旧)受信調査	30分
(旧)施工	30分
(旧)システム	60分
(旧)ブロードバンド	60分

■ 試験区分・出題形式

科目	科目の内容
受信調査	<ul style="list-style-type: none"> ・受信調査のあらまし 受信調査の目的、地上デジタル放送の受信評価と測定項目、受信障害の概要 ・テレビ電波の電波伝搬 電波の発生、偏波面、速さと波長、性質、伝わり方、テレビ電波の電界強度、送信アンテナとその特性、衛星デジタル放送 ・建造物障害の予測 受信障害の種類、都市内の電波伝搬、建造物障害予測の概要 ・建造物障害の調査技術 測定技術、調査技術、他の無線システムとの相互干渉(混信調査) ・受信障害の改善技術 建造物障害の改善方法、共同受信施設による改善、受信アンテナによる改善、受信システムでの改善、建造物の事前調査による対策、受信障害対策中継局(ギャップフィルアー)の設置による改善
施工	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV システムの施工 施工の概要、範囲、施設の施工手順 ・受信点設備 地上デジタル放送受信点の調査・選定、その他放送の受信点調査、アンテナ支持柱、架の取付け、建築物の雷保護、受信点設備の冗長構成 ・ヘッドエンド設備 ヘッドエンド、冗長度構成・予備機器、故障検出、ヘッドエンド相互間の経路、電源設備、ラックの固定、避雷対策、設備を収納する建築物 ・架空伝送路 工事の準備、架空施設の位置、支持柱、装柱、支線、支持線の架設、支持線の接地、ケーブルの架設、架空同軸ケーブル工法、増幅器取付け、分岐・分配器(タップオフ)の取付け、架空クロージャ取付け、電源供給器の取付け、同軸コネクタ、増幅器の調整、環境対策、耐雷対策 ・地中伝送路 埋設工事の選別、構成部材、ケーブルの敷設 ・光ファイバ FTTH 型 CATV システムの構成、光ファイバケーブルの線路設計、選定時の注意点、架渉、光ファイバの識別と線番、接続、光コネクタ、光伝送機器の取付け、光ファイバの端末処理、光ファイバケーブルの測定、作業者のレーザ光に対する安全 ・引込線工事、宅内工事 引込線工事、宅内工事、AV 機器接続、ケーブルインターネットの接続、光引込み・宅内工事の施工手順 ・ビル共同受信設備 ビル共同受信設備におけるデジタル放送の受信方法、ビル共同受信設備の施工手順、改修伝送システム ・工事施工管理と施設の保守・保全 現場監督者、リスクアセスメント、ヒューマンエラーの防止、安全衛生管理、施設の維持と保

	<p>守、保守の範囲、故障や障害の主な発生原因、受信障害と障害原因の調査、修理、保守作業における必要機材、維持管理に必要な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令理解のための基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> 法令の名称等、法令の読み方、対象とする法令等、用語の定義、有線放送設備の規模の決め方 ・有線テレビジョン関連法規 <ul style="list-style-type: none"> 有線テレビジョン放送に関わる手続き、有線テレビジョン放送の実施におけるルール
システム	<ul style="list-style-type: none"> ・CATV システム <ul style="list-style-type: none"> CATV の基本構成、電波と光、電波・光の周波数、電波の偏波面 ・デジタル放送の主要技術 <ul style="list-style-type: none"> デジタル放送の概要、情報源符号化(映像・音声)、多重化、伝送路符号化、その他のデジタル放送の機能、衛星・地上・CATV のデジタル放送、CATV の各放送方式と技術基準、CATV 視聴制御方式、CATV 受信機 ・HFC 型 CATV システム <ul style="list-style-type: none"> 基本構成、同軸ケーブル、構成機器、特性劣化要因、システムの性能 ・FTTH 型 CATV システム <ul style="list-style-type: none"> FTTH システムの基本構成、光の基本性質、光ファイバの伝搬特性、光ファイバケーブル、FTTH 型 CATV システムの構成機器、特性劣化要因、性能と規格 ・ビル共同受信設備 <ul style="list-style-type: none"> デジタル放送受信システムの設計、要求される性能、伝送周波数配列、ビル共同受信設備の構成
ブロードバンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの基礎 <ul style="list-style-type: none"> ネットワークの基本技術、アクセスネットワーク(物理層)、データリンク層のプロトコル、インターネット層のプロトコル、トランスポート層のプロトコル、アプリケーション層のプロトコル ・DOCSIS <ul style="list-style-type: none"> ケーブルインターネットの標準化の狙い、DOCSIS の全体仕様、DOCSIS システム、ケーブルモデムの基本的な起動シーケンス、ノイズなどに強くする仕組み、ノイズなどへの対策、ケーブルモデムのイベントログ、ケーブルモデム設置時の注意、DOCSIS のプロトコルスタック、セキュリティ、DOCSIS3.1 など、PNM(Proactive Network Maintenance) ・PON システム <ul style="list-style-type: none"> PON システムの基礎、標準化、基本的な動作、セキュリティ、相互接続 ・VoIP <ul style="list-style-type: none"> システム構成、VoIP プロトコル、DCS、VoIP におけるダイナミック QoS、VoIP の通話品質、ENUM ・IPTV <ul style="list-style-type: none"> IPTV の定義とサービス、IP による放送の技術基準、IP 自主放送、IP-VOD ・安全・信頼性 <ul style="list-style-type: none"> 安全・信頼性確保の必要性、ネットワークのシステム設計、システムの冗長化、システム監視、有線放送に用いる電気信設備のサイバーセキュリティ確保

■ 講習・試験科目

2021年11月1日よりCATV技術者資格制度変更に伴い受講・受験科目が変更になりますが、現在、科目合格をされている方は、旧制度の科目で受講・受験をしていただきます。よって科目名の前に(旧)と表記しております。

資格名	講習・試験科目
CATV 総合監理技術者	(旧)受信調査、(旧)施工、(旧)システム、(旧)ブロードバンド
第1級CATV技術者	(旧)受信調査、(旧)施工、(旧)システム

※講習と試験はセットになっております。

※講習のみ、試験のみのお申し込みはできません。

●資格を取得するためには、下記の科目に全て合格をしないと資格を取得することはできません。

- ・CATV 総合監理技術者 : (旧)受信調査、(旧)施工、(旧)システム、(旧)ブロードバンド
- ・第1級CATV技術者 : (旧)受信調査、(旧)施工、(旧)システム
- ・第2級CATV技術者 : (旧)技術

■ テキストについて(※2021年11月1日時点のテキスト情報です)

e ラーニング講習では次のテキストを使用します。

- ・受信調査 → 発行日 令和3(2021)年11月以降発行のテキスト
- ・施工 → 発行日 令和3(2021)年11月以降発行のテキスト
- ・システム → 発行日 令和3(2021)年11月以降発行のテキスト
- ・ブロードバンド → 発行日 令和3(2021)年11月以降発行のテキスト

■ 受講・受験料他(税込)

受講・受験料金表((旧)法規科目合格 特別措置)(税込)

コース	テキスト代*	受講料	受験料	事務手数料	合計料金
CATV総合監理技術者	¥0(4冊)	¥26,400(4科目)	¥22,000(4科目)	¥2,200	¥50,600
第1級CATV技術者	¥0(3冊)	¥19,800(3科目)	¥16,500(3科目)	¥2,200	¥38,500

※合格時には別途技術者証発行手数料3,300円が必要です。

※事務手数料とは、受講受験票等の発送から合否通知発送までにかかる講習試験の運用経費として2,200円をご負担いただきます。

テキスト料金表(特別措置)

科目	料金
受信調査	¥1,980
施工	¥1,980
システム	¥3,960
ブロードバンド	¥3,960

*テキストについては、初回のみ無償にて差し上げます。ただし2回目以降、テキストの内容に変更が生じ版が変わった場合は購入していただきます。

※テキストを購入される方は、受講・受験料金表の合計料金にテキスト代を足してください。

■ 資格の取得日及び有効期限

資格の取得日及び有効期限については、下記の通りとなります。

資格名	取得日	有効期限
CATV 総合監理技術者資格*	20〇〇 ^{※1} 年4月1日	20△△年 ^{※2} 3月31日
第1級CATV技術者資格*		
当該CATVエキスパート資格		2026年3月31日 ^{※3}

※1 取得日：合格した年の4月1日。

※2 有効期限：合格した年から5年間。

※3 有効期限：2026年3月31日を以てCATVエキスパート資格は廃止となります。通常資格の有効期限は取得日から5年間ですが、取得年数にかかわらず2026年3月31日までとなります。

■ 合格基準

各科目の得点率60%以上。

■ 合格発表

合格をされた方については、日本CATV技術協会のホームページで受験番号を発表します。合格発表は3月中旬を予定しております。試験結果通知については3月下旬に発送を予定しております。

■ 技術者証の交付

技術者証については、合格された方に試験結果通知と一緒に技術者証交付申請書を郵送いたします。詳細につきましては、技術者証交付申請書をご参照ください。なお別途発行手数料3,300円(税込)がかかります。

お問い合わせ先

一般社団法人 日本CATV技術協会 事業部(技術者育成)

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8

電話 03-5155-6282(平日9:30~17:00)

FAX 03-5273-4675

e-mail syoumei@catv.or.jp